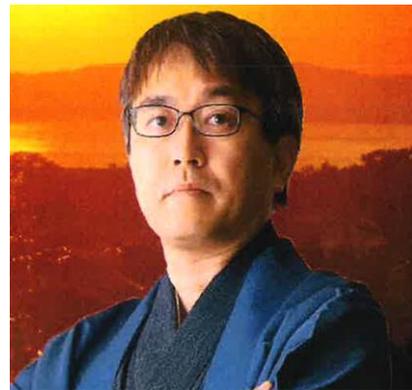
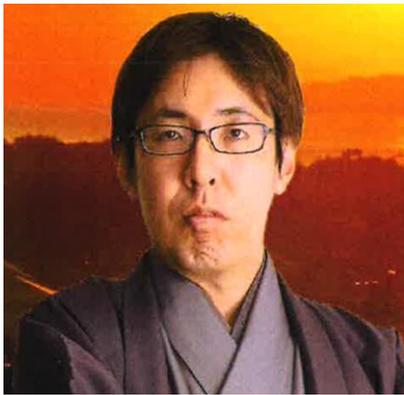


第31期 第4局

竜王戦

大盤解説会、11月25日に開催！



広瀬章人八段 VS 羽生善治竜王

- 生年月日 1987年1月18日
- 出身地 北海道札幌市
- 師匠 勝浦修九段
- タイトル履歴
王位1期（第51期-2010年度）

- 生年月日 1970年9月27日
- 出身地 埼玉県所沢市
- 師匠 (故)二上達也九段
- タイトル履歴
竜王6期（第2期-1989年度・5期・7~8期・14~15期）
名人9期（第52期-1994年~54期・61期・66~68期・72~73期）—十九世名人
王位18期（第34期-1993年度~42期・45期~47期・52~57期）—永世王位
王座24期（第40期-1992年度~58期・60~64期）—名誉王座
棋王13期（第16期-1990年度~27期・30期）—永世棋王
王将12期（第45期-1995年度~50期・52期・54~58期）—永世王将
棋聖16期（第62期-1993年度前期~66期・71期・79~88期）—永世棋聖

日時 11月25日（日） 午後4時から午後8時まで

※終局次第イベントも終了いたします

※「次の一手」を行う予定です。

会場 読売新聞中部支社 5階会議室（地下鉄東山線伏見駅徒歩7分）

解説棋士 杉本昌隆七段 / 聞き手 中澤沙耶女流初段

参加費 1,200円 定員100人

※指導対局も行います。午後1時から先着順10人で、受講料は2,000円です。

参加方法 事前にはがきで住所、氏名、電話番号、参加人数、指導対局参加の有無を〒460-8470（住所不要）読売新聞中部支社「竜王戦大盤解説会」係へ。ファクス（052-211-0040）、電子メール（c-shogi@yomiuri.com）でも可。11月19日（月）必着。残席があれば当日参加も可。参加費は当日徴収します。

問合せ先 読売新聞中部支社 販売部 TEL052-211-0037

竜王戦は、昭和62（1987）年、それまで26期続いた十段戦を発展的に解消して設立された、読売新聞社が主催する将棋界最高位のタイトル戦です。

第31期竜王戦七番勝負は昨年永世竜王の資格を得た羽生善治竜王と、初の竜王位を目指す広瀬章人八段が激突します。羽生竜王は、勝てば前人未到の通算タイトル100期獲得、敗れば27年ぶりの無冠という「100か0か」の大勝負でもあります。

読売新聞中部支社では、竜王戦をさらに盛り上げるべく、藤井聡太七段の師匠・杉本昌隆七段による第31期竜王戦第4局の大盤解説会を開催します。

解説



杉本昌隆七段

名古屋市出身。現役棋士であると同時に、東海地方を中心に将棋の普及活動を行っている。（故）板谷進九段門下。29連勝を成し遂げた瀬戸市の中学生プロ棋士、藤井聡太七段の師匠。竜王戦は現在2組（1組通算8期）。

聞き手



中澤沙耶女流初段

杉本昌隆七段の門下生で、2015年にプロ入り。2016年に女流初段に昇級。

会場までの略図



主催 読売新聞社